



自ら Plug-in! 新たな学び を Charge! 教職員の学びを子どもの学びと相似形に

# 教育センターだより

令和8年6月12日発行  
北九州市立教育センター  
TEL 641-1775  
FAX 641-1833  
【ホームページ】  
http://www.kita9.ed.jp/eductr/  
【Eメール】  
admin@eductr.kita9.ed.jp

## 【特集】年間を通じた「実践型研修」について

対象：二年次・三年次・七年次・十年次教諭、新任講師



### 本年度の実践型研修のテーマ —「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実—

今年度も、年次等研修の選択研修で教科等研修 A・B、探究的な学び研修を受講する先生については、年間を通じて、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、計画（P）、実行（D）、評価（C）、改善（A）のサイクルを繰り返す「実践型研修」を位置付けています。

※教科等研修 B については、一部テーマが違う研修があります。

年間の研修の流れを把握し、計画的に取り組みましょう。



### 年間を通じた実践型研修の流れ

※その都度、学んだことや成果と課題を授業実践報告書にまとめて指導力の向上を図りましょう

4月 ～ 7月	1 であう 	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各校の学校経営方針やスクールプランを確かめる。</li> <li>② 自ら学び、年間を通じて実践する研修を選ぶ。</li> <li>③ <b>事前動画</b>で学ぶ。</li> </ul>
	2 振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> <li>① これまでの授業実践を振り返る。</li> <li>② <b>成果と課題、目指す子どもの姿を明確にする。</b></li> </ul>
夏季休業中	3 出し合う ねり合う 	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>研修に参加</b>する。</li> <li>② (3)まで記入した報告書を持参する。</li> <li>③ 授業改善の視点を学び、練り合う。</li> </ul>
9月 ～ 1月	4 生かす 深め合う 	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>授業実践を行う。</b></li> <li>② 校内 OJT 体制を生かして、学びを深め合う。</li> </ul> <p>※ 現場、実践する機会がない場合は、管理職と相談し、実践する機会を設定してもらう</p>
	5 まとめ合う つなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 年間を通じた<b>授業実践報告書</b>で成果と課題を振り返る。</li> <li>② 次の年次やキャリアステージへの展望をもつ。</li> </ul>

動画については、Plant から自身が選択した研修のページにアクセスし、視聴します。

授業実践報告書については、Plant から選択アンケートを行ったページにアクセスし、ダウンロードします。

これまでの自身の授業実践を、学校経営方針やスクールプランをもとに振り返り、成果と課題、目指す子どもの姿を明確にしておきましょう。

持参物や資料等については Plant で確認しましょう。

夏季休業後は研修での学びを生かし、授業実践を行いましょ。

実践後は、「授業実践報告書」の作成を通して、成果と課題を振り返りましょう。

※ Plant で研修を検索する場合は、開催日を令和8年4月1日にする、もしくは、検索条件初期化ボタンをクリックして、検索してください。

